



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

平成23年 2月 2日(水)
国土交通省関東地方整備局
下館河川事務所

記者発表資料

常総市・市民と連携した洪水危機管理演習を実施します

近年において、大規模な洪水被害が発生し、多くの尊い人命や財産が失われています。これに対し行政は、ハード・ソフト両面での対策を進めていますが、特にソフト面では避難勧告等の発令判断・発令時期が難しいという課題等があります。

一方、河川管理者としては、水防法改正により、自治体への洪水予報やはん濫シミュレーション結果等、特に住民避難に関する助言・情報提供が求められており、自治体（首長）と河川管理者との情報交換・共有、支援体制の充実がますます重要になっています。

今回は、下館河川事務所の職員と鬼怒川の沿川自治体である常総市の職員が、鬼怒川において洪水による堤防決壊が発生したことを想定し、洪水対策及び重大災害対策への判断・指導・実施を迅速かつ適切に対応可能とならしめるために演習を実施します。また、水海道本町自治会の方々による常総市洪水ハザードマップを使用した避難訓練も実施します。

当日は、下館河川事務所と常総市が、情報収集・伝達等実践に即した行動を行い、さらに、様々な事態に対応することにより、重大な災害に対する対応能力向上につながる実働演習となります。

なお、今年、昭和61年8月洪水の大水害から25年目にあたり、当時は、黒子上流域流域平均雨量が300mmを超える降雨となり、堤防の決壊や溢水等により小貝川流域の多くの家屋や財産などに被害をもたらしました。このことを教訓として様々な対策を実施してきましたが治水対策や避難対策等の重要性を考慮し、今後さらなるハード・ソフト両面での対策に努めていきます。

日時：平成23年 2月 3日(木) 9時から13時20分まで(第1部)
14時から16時まで(第2部)
※演習内容は別紙のとおり

場所：国土交通省 下館河川事務所
常総市

当日の取材は、可能です。写真撮影は、演習の妨げにならないようにして下さい。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ	栃木県政記者クラブ
筑西市記者クラブ	宇都宮市役所記者クラブ

お問い合わせ先

308-0841 茨城県筑西市二木成1753番

国土交通省関東地方整備局下館河川事務所

副 所 長：米 谷 信 行 (内線204)

調査課長：海 津 義 和 (内線351)

(電話 0296-25-2171)

303-8501 茨城県常総市水海道諏訪町3222-3

常総市市民生活部安全安心課

課 長：小 川 喜 美 夫 (内線231)

(電話 0297-23-2111)

鬼怒川洪水危機管理演習の概要

(別紙)

■ 演習の目的

- ・鬼怒川における大規模な洪水災害を想定した危機管理演習を行い、各自・各組織の危機管理対処能力の向上を図る。
- ・「人命第一」を目標に、迅速・的確な住民避難が可能となるよう、常総市と下館河川事務所との連携強化を図る。
- ・住民の危機管理意識の向上、洪水に関する情報の周知等を図る。

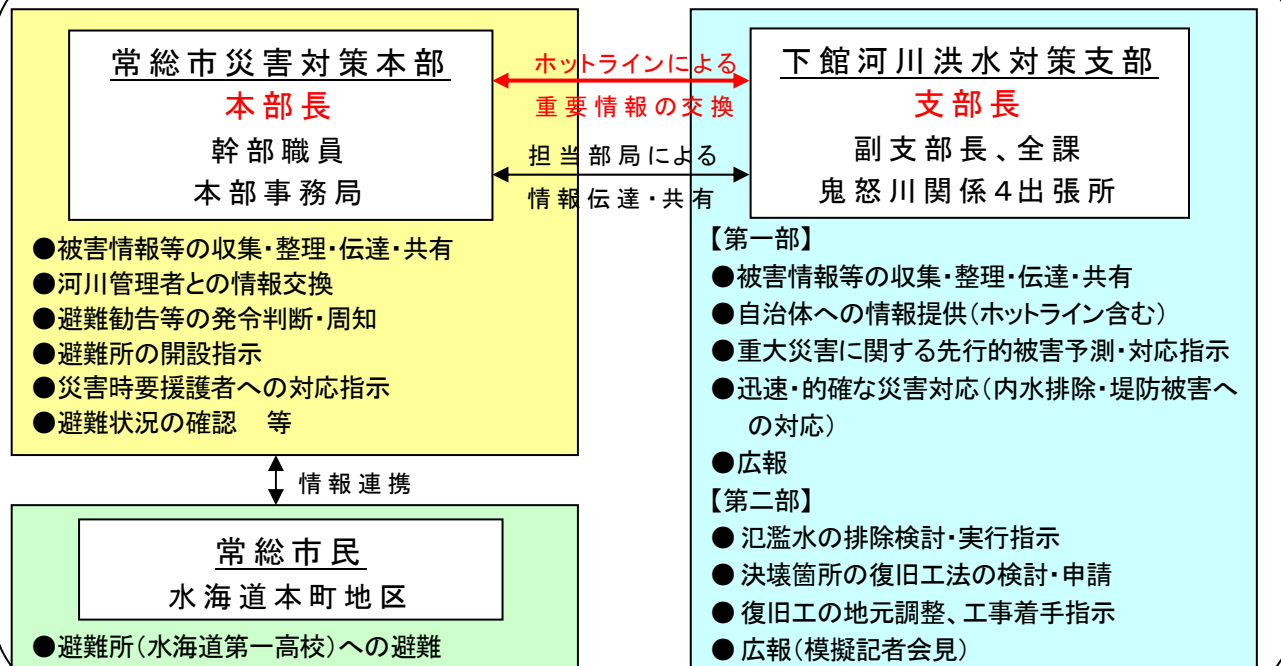
■ 今回の演習の特徴

- ・あらかじめシナリオを公開し、事前に対処行動を考える。
- ・演習時には、各関係機関や対策班等が考慮した対処行動について、図上訓練として実施。
- ・一般市民の避難訓練も連携して実施。
- ・訓練終了後、参加者による検討会を実施。

■ 演習の想定

- ・昭和41年9月の出水をやや上回る(1/100確率)規模の洪水災害を想定。〔台風災害〕
- ・鬼怒川左岸11k(常総市本町)にて決壊。小貝川までの間の地域が浸水。
- ・上記以外の箇所、堤防被害5箇所、内水被害1箇所を想定。

■ 演習編成と演習主要項目



■ 演習スケジュール: 2月3日(木)

開会式	8:30 ~ 9:00
演習【第一部】	9:00 ~ 13:00
検討会【第一部】	13:00 ~ 13:20
演習【第二部】	14:00 ~ 16:00
検討会【第二部】	16:20 ~ 17:00

※第二部は下館河川事務所単独で実施

■ 演習会場

- 下館河川事務所
防災対策室、第2会議室、第3会議室
- 常総市役所
庁議室(2階)
- 常総市民
自宅~水海道第一高等学校(避難所)